

「マルチステークホルダー方針」

当社は、企業経営において、株主にとどまらず、お客様、取引先、投資家、地域社会、従業員など多様なステークホルダーとの価値協創が重要であると考えています。「ひと粒の可能性から、価値をひろげ、日々の幸せを共につくる。」というグループ経営理念のもと、マルチステークホルダーとの適切な協働により、「穀物ソリューション・カンパニー」として社会の持続的な発展に貢献してまいります。その上で、価値協創や生産性向上によって生み出された収益・成果について、マルチステークホルダーへの適切な分配を行うことが、経済の持続的な発展ならびに持続的な企業価値の向上につながると考えます。この観点から、当社は従業員への還元や取引先への配慮が重要であることを踏まえ、以下の取り組みを進めてまいります。

記

1. 従業員への還元

当社は、人財は企業の持続的な成長を支える最も重要な経営資本と位置付け、人財への戦略的な投資を継続的に行うことで、人財ビジョン「支え合い、自ら考え、挑戦する人財」の実現を目指します。従業員の能力開発やスキル向上等を通じて、持続的な成長と生産性向上に取り組み、付加価値の最大化に注力します。

その上で、生み出した収益・成果に基づいて、当社の状況を踏まえた適切な方法による賃金の引上げを行うとともに、それ以外の総合的な処遇改善としても、従業員のエンゲージメント向上や更なる生産性の向上に資するよう、教育訓練等を中心に積極的に取り組むことを通じて、従業員への持続的な還元を目指します。

(個別項目)

具体的には、賃金の引上げについては、経済情勢や社会動向、自社の経営環境を踏まえて役割や成果に応じた適正な配分（賃金の引上げ、賞与等）を行うとともに、教育訓練等については、中期経営計画の「人的資本戦略」に掲げる「キャリアオーナーシップの実現」のため、研修内容の見直し等により主体的な学び・成長を支援するとともに、手挙げ・公募制度の拡充や海外・新規事業への挑戦機会の創出を推進します。あわせて、職場環境の改善等によるエンゲージメント向上やダイバーシティの更なる推進等にも継続的に取り組んでまいります。

2. 取引先への配慮

当社はパートナーシップ構築宣言の内容遵守に、引き続き、取り組んでまいります。

なお、パートナーシップ構築宣言のポータルサイトへの掲載が取りやめとなった場合、マルチステークホルダー方針の公表を自主的に取り下げます。

- ・ パートナーシップ構築宣言のURL

【<https://www.biz-partnership.jp/declaration/129714-05-01-tokyo.pdf>】

また、消費税の免税事業者との取引関係についても、政府が公表する免税事業者及びその取引先のインボイス制度への対応に関する考え方等を参照し、適切な関係の構築に取り組んでまいります。

これらの項目について、取り組み状況の確認を行いつつ、着実な取り組みを進めてまいります。

以上

2024年 9月 5日

(2025年11月4日 パートナーシップ構築宣言のURL変更による更新)

(2026年4月1日 冒頭文および従業員への還元に関する記載の一部修正による更新、

パートナーシップ構築宣言のURL変更による更新)

昭和産業株式会社

法人名

代表取締役社長執行役員 塚越 英行

代表者の役職及び氏名